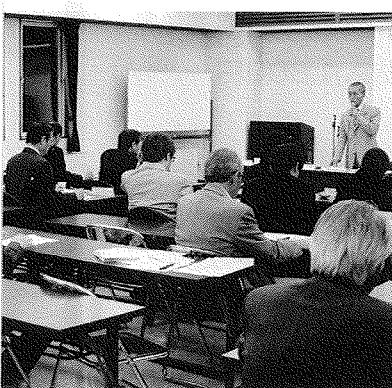


お口爽やかですか

テーマ 北海道国保連合会調査

歯の数が減ると医療費アップ。
4本以下の人には20本以上の
1.6倍

それによると、20本以上



同連合会の調査は、満70歳以上の国民健康保険加入者で、昨年5月に歯科を受診した患者が対象。患者の（診療報酬明細書）10万3418件を分析した。

歯と全身の健康の関係を、数字で裏付ける結果となつた。すなわち、自分の歯でかめる人は、健康ということです。

去る4月20日の北海道新聞にも掲載されましたが、歯の数が少ない高齢者は、歯科以外の医療費が高いこと、などが、北海道国民健康保険団体連合会の調査で分かつた。

歯と全身の健康の関係を、数字で裏付ける結果となつた。すなわち、自分の歯でかめる人は、健康ということです。

高血圧など循環器系で50%、生活習慣病で50%も医療費が大

歯の治療を済ませた人は、全身状態が良く一般医療費が少ない

歯のある人の、歯科以外の医療費は2万2660円で、歯の数が減るに連れて医療費は増加。4本以下では3万5930円と約1・6倍も高かった。

歯のある人の、歯科以外の医療費は2万2660円で、歯の数が減るに連れて医療費は増加。4本以下では3万5930円と約1・6倍も高かった。

「歯の数が少ない高齢者は歯科以外の医療費が高い」と北海道国保連合会が公表

は意外。歯が多く残っている。がんや糖尿病、脳血管障害になると食べることに意欲的になるだけでなく、食べ物をしつかり噛み、唾液とよく混ぜ合わせることができます。

消化管で栄養が吸収されやすくなるので、全身の健康状態がよくなるのではない

か」とみている。

以上の調査報告から、歯を残すことがいかに健康にとって大切なかが分かります。

それには、生涯をかけて歯を失う原因の「むし歯」、「歯周病」を予防することが肝心で、自分で手入れするだけでなく、歯科医院で定期的に専門的に管理してもらうことが大切です。

本会や旭川市が加盟する上川中部地域歯科保健推進協議会は、市民の歯を残すためにいろいろな活動をして

分析を担当した北大病院歯科治療センターの兼平孝講師は、「こ

れほどの差があると

付けています。

調査結果について、

旭川歯科医師会だより